



くまのこ



山口まちづくりセンター

TEL: 04(2924)1224

夏の思い出

子どもの頃の私にとっての夏の思い出は、何と言っても おばあちゃん家で過ごした日々です。新幹線や特急などを乗り継いで、片道7時間もかかりますが、毎年必ず行っていました。

祖母の家は、店舗兼住居になっていて、お店では駄菓子やアイス、文房具、野菜や花の種など、細々としたものを売っていて、近所のこともたりやお年寄りが買いに来なくて、祖母とおしゃべりしつつ、お買物したり、駄菓子を食べたりして過ごすというお店でした。

そういえば、お店には本棚もあって、手塚治虫さんのマンガが沢山並び、これは祖母の娘(私の叔母)が好きで買い集めたものなのですが、これも読み放題でした。祖母の家の本棚は、小説やらマンガやら色々なものが並んでいて、祖母の好きな『ジャリンこ子エ』が数十冊並んでいたのが、毎年これを読破すると決めて、毎年達成していました。

あと、エドガー・アラン・ポーの短編集がありました。怖そうなお話ばかりです。でも、中学生の頃だったでしょうか、思いきってその中の1つを読んでみることに。ひとりでは読みたくなかったので、弟とくっついて一緒に読みました。やっぱりなんだかおどろおどろしいお話で、弟とキャーキャー言いながら読んでいると、それを見た親戚が「この暑いのにくっついてて……」と笑っていました。

海も川も山もあり、夜になったら家の前で花火、お風呂上がりにはお店のアイスケースからアイスを選んで、祖母に「これちょうだい」と言って食べるという、最高のおばあちゃん家でした。